

モノを動かす。心で動かす。



2012年3月期決算説明会



三井倉庫株式会社

2012年5月10日



■ 説明資料内容

- 2012年3月期 決算内容 1 … 5
- 2013年3月期 決算見通し 6 … 15
- 補足資料（別冊）



(単位：百万円)

連結合計	2011.3	2012.3	増減額	増減率
売上高	96,766	107,344	+10,578	+10.9%
営業利益	6,548	6,731	+183	+2.8%
経常利益	4,772	5,251	+479	+10.0%
当期利益	2,534	2,151	△382	△15.1%
営業CF	8,104	9,682	+1,578	+19.5%
投資CF	△17,910	15,388	+33,298	—
財務CF	11,154	9,606	△1,547	△13.9%
自己資本	49,255	50,136	+880	+1.8%
総資産	184,035	197,338	+13,302	+7.2%
自己資本比率	26.8%	25.4%	△ 1.4%	—



2012.3期決算内容 (2) 売上高

単位：百万円

連結合計	2011.3期	2012.3期	増減額	増減率	主な要因
国内物流	44,259	45,834	+1,574	+3.6%	運送貨物取扱いの増加のほか、保管残高の増加が寄与
港湾運送	13,229	14,218	+989	+7.5%	新航路開設効果により、コンテナ貨物取扱いが増加
グローバルネットワーク	13,066	11,923	△1,142	△8.7%	中国、東南アジアは堅調なるも、米国、台湾の落込み大
航空	2,726	12,230	+9,503	+348.6%	三井倉庫エアカーゴが通期で寄与
その他物流	10,931	11,439	+507	+4.6%	BPO事業の稼働率改善
不動産	12,538	12,077	△461	△3.7%	売却した収益物件の影響で減収
全社・消去	14	△377	△392	—	
売上高合計	96,766	107,344	+10,578	+10.9%	

上記セグメント別比較は、有価証券報告書記載のセグメント情報を基に作成しております。2012.3期より社内事業セグメントを以下のとおり変更しております。①その他物流に含めていた航空を区分掲記、②文書保管業務を国内物流からその他物流（BPO）へ移管、③物流消去・物流共通費の配賦方法を見直し、全社消去・全社共通費に集約。



単位：百万円

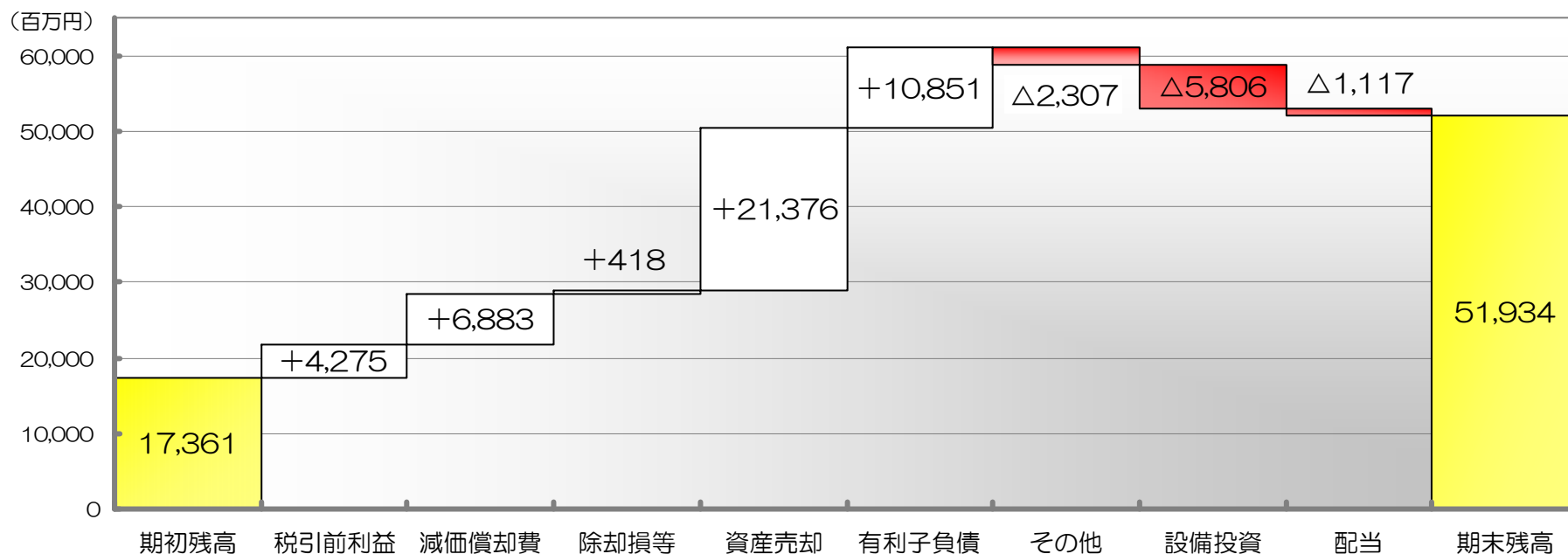
連結合計	2011.3期	2012.3期	増減額	増減率	主な要因
国内物流	2,812	3,472	+659	+23.5%	減価償却費の経年減
港湾運送	896	979	+82	+9.2%	
グローバルネットワーク	118	△149	△267	—	
航空	△31	366	+397	—	
その他物流	△295	18	+313	—	
不動産	7,522	7,273	△249	△3.3%	ビル管理費の削減、減価償却費の減少
全社	△4,474	△5,227	△753	—	三井倉庫エアカーゴのれん償却、コンサル費用増加等
営業利益合計	6,548	6,731	+183	+2.8%	

上記セグメント別比較は、有価証券報告書記載のセグメント情報を基に作成しております。2012.3期より社内事業セグメントを以下のとおり変更しております。①その他物流に含めていた航空を区分掲記、②文書保管業務を国内物流からその他物流（BPO）へ移管、③物流消去・物流共通費の配賦方法を見直し、全社消去・全社共通費に集約。



単位：百万円

連結合計	2011.3期	2012.3期	増減額
営業外損益	△1,776	△1,480	+296
内金融収支	△1,308	△1,201	+106
經常利益	4,772	5,251	+479
特別利益	1,366	2,566	+1,199
内不動産売却益	893	2,560	+1,666
特別損失	2,280	3,542	+1,261
内固定資産売却損・撤去費等	1,248	2,806	+1,558
当期利益	2,534	2,151	△382



単位：百万円

連結合計	2011.3期	2012.3期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	8,104	9,682	+1,578	+19.5%
内減価償却費	6,908	6,883	Δ24	Δ0.4%
投資キャッシュフロー	Δ17,910	15,388	+33,298	—
設備投資額	20,495	5,806	Δ14,688	Δ71.7%
財務キャッシュフロー	11,154	9,606	Δ1,547	Δ13.9%
有利子負債残高	108,505	119,356	+10,851	+10.0%
期末キャッシュ残高	17,361	51,934	+34,573	+199.1%



- 三洋電機ロジスティクスの全株式を取得（2012年4月2日）
 - 三井倉庫ロジスティクスとして連結子会社化
 - 家電分野を中心とした3PL事業での確固たる地位の確立
 - 消費者物流領域をカバーする物流事業展開
- 当社事業とのシナジー効果
 - 配送センター型ビジネスへの本格参入
 - 国際一貫物流サービスと国内物流サービスの統合
 - Setting delivery／消費者物流によるサービス業務の拡大

三井倉庫ロジスティクス拠点

(坪)

東京	4,615
札幌	5,097
名取（宮城）	4,533
枚方（大阪）	22,883
広島	4,128
福岡	14,318
その他 21拠点	99,441
合計 27拠点	155,015

三井倉庫ロジスティクス

2012年3月末

純資産	11,025 百万円
総資産	29,557 百万円
従業員	369 名



- JTBエアカーゴ (三井倉庫エアカーゴ) の全株式取得 (2011年3月1日)
- TASエクスプレスの連結子会社化 基本合意書締結 (2012年3月26日)
 - ステップ1 : TASエクスプレスの株式45.5%の取得
 - ステップ2 : 三井倉庫エアカーゴとの合併 (2012年7月1日予定)
(当社持株比率64.2%、トヨタ自動車35.8%)
 - 売上規模倍増によるコストメリット追求
 - 海上と航空の統合によるシナジー効果

TASエクスプレス 2012年3月末見込

純資産	約 4,000 百万円
総資産	約 7,000 百万円
従業員	約 450名
海外現地法人 (拠点数)	米国 (9)、欧州 (5)、中国 (4)、タイ、インド、インド ネシア、南アフリカ 計10カ 国、8現地法人 22拠点

三井倉庫エアカーゴ 2012年3月末

純資産	1,970 百万円
総資産	4,139 百万円
従業員	175 名



<旧セグメント>

<新セグメント>

〔売上〕 〔営業利益〕

旧セグメント		新セグメント		売上	営業利益
国内物流	→	国内物流		45,755	3,476
港湾運送	→	港湾運送		14,218	979
グローバルネットワーク	→	グローバルネットワーク		11,923	△149
航空	→	国際輸送		17,110	495
その他物流	→	航空		12,230	366
		NVO		4,880	129
		3PL			
L/S	→	ロジスティクスシステム		1,489	△108
BPO	→	BPO		5,147	△46
不動産	→	不動産		12,077	7,273
全社・共通	→	全社・共通		△377	△5,189

※ 売上、営業利益は2012年3月期実績 (単位：百万円)



(単位：百万円)

連結合計	2012.3	2013.3	増減額	増減率
売上高	107,344	158,000	+50,655	+47.2%
営業利益	6,731	7,400	+668	+9.9%
経常利益	5,251	5,600	+348	+6.6%
当期利益	2,151	3,200	+1,048	+48.7%
営業CF	9,682	11,000	+1,317	+13.6%
投資CF	15,388	△39,000	△54,388	—
財務CF	9,606	△9,000	△18,606	—
自己資本	50,136	52,000	+1,863	+3.7%
総資産	197,338	215,000	+17,661	+8.9%
自己資本比率	25.4%	24.2%	△ 1.2%	—



単位：百万円

連結合計	2012.3期	2013.3期	増減額	増減率	主な要因
国内物流	45,755	46,000	+244	+0.5%	前年並み取扱数量、単価を見込む
港湾運送	14,218	14,000	△218	△1.5%	前年並み取扱数量を見込む
グローバルネットワーク	11,923	13,600	+1,676	+14.1%	米国経済の回復、タイ洪水の影響からの回復を見込む
国際輸送	17,110	28,000	+10,889	+63.6%	TASエクスプレスとの合併効果を見込む
〇〇システム	1,489	40,000	+38,510	—	三井倉庫ロジスティクスの通期寄与
BPO	5,147	5,600	+452	+8.8%	発送系業務の回復を見込む
不動産	12,077	11,200	△877	△7.3%	収益物件売却による減収
全社・消去	△377	△400	△22	—	
売上高合計	107,344	158,000	+50,655	+47.2%	

上記セグメント別比較は、有価証券報告書記載のセグメント情報を基に作成しております。2013.3期より社内事業セグメントを8ページ記載のとおり変更しております。



単位：百万円

連結合計	2012.3期	2013.3期	増減額	増減率	主な要因
国内物流	3,476	3,600	+123	+3.5%	間接材コスト等の削減効果を見込む
港湾運送	979	600	△379	△38.7%	利鞘縮小
グローバルネットワーク	△149	100	+249	—	
国際輸送	495	1,400	+904	+182.6%	
ロジスティクスシステム	△108	2,200	+2,308	—	
BPO	△46	200	+246	—	
不動産	7,273	6,600	△673	△9.3%	大規模改修工事による減価償却費の増加
全社	△5,189	△7,300	△2,110	—	のれん償却費の増加
営業利益合計	6,731	7,400	+668	+9.9%	

上記セグメント別比較は、有価証券報告書記載のセグメント情報を基に作成しております。2013.3期より社内事業セグメントを8ページ記載のとおり変更しております。



単位：百万円

連結合計	2012.3期	2013.3期		通期	増減額
		上期	下期		
営業外損益	△1,480	△800	△1,000	△1,800	△319
内金融収支	△1,201	△600	△600	△1,200	+1
経常利益	5,251	2,700	2,900	5,600	+348
特別利益	2,566	—	—	—	△2,566
内不動産売却益	2,560	—	—	—	△2,560
特別損失	3,542	100	200	300	△3,242
内固定資産売却損、撤去費等	2,806	100	200	300	△2,506
当期利益	2,151	1,300	1,900	3,200	+1,048



単位：百万円

連結合計	2012.3期	2013.3期			増減額	増減率
		上期	下期	通期		
営業キャッシュフロー	9,682	4,600	6,400	11,000	+1,317	+13.6%
内減価償却費	6,883	3,400	3,900	7,300	+416	+6.0%
内のれん償却費	295	800	900	1,700	+1,404	+474.9%
投資キャッシュフロー	15,388	△34,900	△4,100	△39,000	△54,388	—
設備投資額	5,806	5,000	4,000	9,000	+3,193	+55.0%
株式取得額	—	29,700	—	29,700	+29,700	—
財務キャッシュフロー	9,606	△8,900	△100	△9,000	△18,606	—
有利子負債残高	119,356	119,200	119,700	119,700	+343	+0.3%
新規連結による増加額	—	4,000	—	4,000	+4,000	—
期末キャッシュ残高	51,934	16,700	19,000	19,000	△32,934	△63.4%

※ 被取得会社が新規連結時に保有すると見込まれるキャッシュ残高は、「新規連結による増加額」の欄に表示しております。

- 営業C/F： 消費税支払増加 △1,800百万円の特異要因あり



■ 医薬品専用倉庫建設 (神戸市須磨区)



土地： 約2,700坪
施設： 4階建て、延べ床約5,400坪
竣工予定： 2012年11月
総投資額： 約35億円 (内、13.3期支払額約19億円)

■ 株式会社神戸港国際流通センターの倉庫・事務所買取 (神戸市中央区)

- ・ 建物面積：4,000坪、取得価額：約16億円

■ 箱崎ビル維持更新工事

- ・ 大規模修繕計画の最終年度にあたり、約28億円を予定

■ その他

- ・ 約27億円 (情報システム5億円、その他22億円)

設備投資全体で90億円を予定



■ 財務戦略

■ 資金収入

2013年3月期以降の3カ年で400億円の営業キャッシュフローを予定

■ 設備投資による支出

減価償却費と同額を投資すると仮定すると、3カ年で200億円

■ 有利子負債残高

2013年3月期末 1,200億円を見込む。

中期的には、有利子負債/営業CF倍率は7倍を目指す

■ 配当方針

- 連結営業利益をベースに算出した「実質当期純利益」の30%を目処に配当する方針
中間4.50円、期末4.50円、年間9.00円を予定